

《口腔科学研究科博士前期課程 口腔保健学専攻》

・ディプロマ・ポリシーに強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名		主要授業科目	【1. 高度な知識】	【2. 高度な専門技能】	【3. 強い責任感と指導力】	【4. 国際性と問題解決能力】
			社会から求められる口腔保健学を理解し、これを実践するための高度な知識を有する。	教育・研究者として問題解決型授業を主体的に行う能力や、口腔保健学研究・実験の基本的技能を有する。また、入院患者へ行う専門的口腔ケアや、保健福祉活動の場で求められる高度な専門技能を有する。	学生の職業意識を培う教育担当者としての自覚を有し、科学の進歩に関心を持って継続的な生涯学習を実践できる。また、強い責任感と指導力を有し、チーム医療や医療連携を重視しながら、口腔保健を中核的に推進できる高度専門職業人として健康長寿社会に貢献できる。	学際的な科学的知識と国際的視野を併せ持ち、常に最新の口腔保健関連分野の情報収集と学習に心がけ、科学的視点から口腔保健分野の問題を分析・評価し、課題を解決する能力を有する。
基礎科目	共通カリキュラム科目	生命倫理概論	◎		○	
		臨床心理学	◎			
		社会医学・疫学・医学統計概論	◎			
		英語論文作成法	◎			○
		生命科学の研究手法	◎	○		
		医療系分野における知的財産学概論	◎			○
		宇宙と栄養・医学概論	◎	○		
		生命科学コミュニケーション特論	○		○	◎
口腔保健学基盤科目	口腔保健学特論科目	口腔保健学特論	○	◎	○	◎
		国際口腔保健学	○		◎	◎
		医療福祉学	○	◎	◎	
		長寿口腔保健学	○	◎	◎	
		医療倫理と研究倫理	○	◎		○
		口腔機能賦活学	○		◎	◎
		口腔機能賦活学演習	○		◎	◎
		高齢者・障害者口腔機能管理学	○		◎	◎
		高齢者・障害者口腔機能管理学演習	○		◎	◎
		口腔保健学臨床系課題実習	○		◎	◎
口腔保健学課題専攻科目	臨床系	口腔保健医療管理学	○	◎	◎	
		口腔保健医療管理学演習	○	◎	◎	
		口腔予防科学	○	◎	◎	
		口腔予防科学演習	○	◎	◎	
		教育・研究系				
		口腔予防科学演習	○	◎	◎	

ディプロマ・ポリシー				科目名	主要授業科目	【1. 高度な知識】	【2. 高度な専門技能】	【3. 強い責任感と指導力】	【4. 国際性と問題解決能力】	科目の教育目標
						社会から求められる口腔保健学を理解し、これを実践するための高度な知識を有する。	教育・研究者として問題解決型職業を主体的に行う能力や、口腔保健学研究・実験の基本的技能を有する。また、入院患者へ行う専門的口腔ケアや、保健福祉活動の場で求められる高度な専門技能を有する。	学生の職業意識を培う教育担当者としての自覚を有し、科学の進歩に関心を持って継続的な進歩学習を実践できる。また、強い責任感と指導力を有し、チーム医療や医療連携を重視しながら、口腔保健を中核的に推進できる高度専門職人として健康長寿社会に貢献できる。	学際的な科学的知識と国際的視野を併せ持ち、常に最新の口腔保健関連分野の最新情報と学問的に心がけ、科学的視点から口腔保健分野の課題を分析・評価し、課題を解決する能力を有する。	
			口腔保健学教育・研究系課題実習	○		◎	◎			(教育系) 次世代の歯科衛生士教育の担い手となることができるよう、教育系の課題を選択した学生へは学内で実施されている種々の教育プログラムやFD・SDワークショップに立案の段階から参加し、実際の目標設定・方略の選択・評価・運用のすべてを経験し、その内容を理解する。 (研究系) 口腔保健学の学問体系を確立する研究者としての基盤形成を培うことができるよう、研究系の課題を選択した学生へは口腔保健分野の研究を遂行するための課題を学生から提示させ、適切な実験方法や基本的な実験主義を示すプロトコールに従った実習を行い、実験成果を導く手技・手法を習得する。
			口腔保健学課題研究演習	○	○	○	○	◎		口腔保健および社会福祉に関する課題研究テーマを選択し、自ら計画・立案する。 得られた結果を分析・考察する。 課題研究成果を発表する。 課題研究に関する修士論文を作成する。